

よりよい農業を目指して

町認定農業者の会

9月11日、町認定農業者研修会が開催され、15名の会員が参加しました。

最初の研修地となった日野洋蘭園では、社長の柴寄喜好さんが事業展開の状況などについて説明をされました。

柴寄さんは「品質と生産性を徹底的に追求しています。

今（洋蘭に対して）やったこ

とは、2カ月、3カ月後に結果がでえます。花がいつでもきれいに咲くようにするこ

とはたいへん難しい。」と話されました。会員からも「肥料はどうしていますか。また

年間コストは？」「市場はどちらに出していますか？」など積極的な質問が飛び交い参加者にとってはたいへん意義

深いものとなったようでした。その後一行は市山貞篤さん

の果樹園、佐藤俊夫さんの農場を見学しました。

また夜には川薩農業改良普及センターの職員を招き、

「家族経営協定」について勉強会がおこなわれ、充実した

研修会となったようでした。

研修会となったようでした。



▶実際に栽培の様子を見ながら説明される柴寄さん

表紙の説明

川薩・伊佐地区少年ソフトボール大会が、17チームが出場して、9月1日、菱刈町農村公園グラウンドで開催され求名ソフトボール少年団チームが見事優勝しました。

求名チームは、8月18日の南九州各地から選ばれたチームが出場した第3回南九州小学生選抜ソフトボール大会でも、2試合連続ノーヒットノーランにおさえベスト8の快進撃をみせています。準決勝までの4試合を1失

点のみで迎えた決勝戦は、大東チーム（祁答院町）との対戦。1回2死からキャプテン東健志郎君が左中間を抜くランニングツーランホームランで先制。その後田中康太君（投手）、健太君（捕手）の双子バッテリーが速球主体のピッチングで守りきり優勝しました。

優勝の立役者となった田中康太君は「せっかく4番にとってもらった点数なので守り抜きたいと思った。中学でも野球部に入りたい。」と感想を話していました。

大がたトレーラー

永野小三年 大牟田裕介君
ぼくの持っている大がたトレーラーであそびました。車が七台ののることを知り、荷物は二こと、三は十一ののることを知りました。大がたは、こんなに荷物をのせることができるなんて、勉強になりました。

子ねこ

永野小三年 近藤ななみさん
今日、犬のさんぽをえき公園までしていたら、えき公園のてんじひんのガラスケースの中に、子ねこがいれられていました。二日間せわをして、やっともらってくれる人がみつかりました。そのねこの名前は「ミー」です。

大きなつぼの古時計

永野小三年 淵脇麻衣さん
三時間目の音楽の時間に、大きなつぼの古時計のビデオを見ました。えい語と日本語で歌っているビデオでした。きいているうちに、なみだが出てきそうでした。

捨てられたゴミの量に愕然！

「道徳心はないのか？」参加者からも怒りの声

8月17日、国道504号線の段から薬師の間の道路沿いで環境美化を目的とした「国道504号線クリーン作戦」が開催されました。

これは、町建設課と永野小PTAが呼びかけて開催されたもので、永野地区の住民など約120名が参加し、道路沿いや河川敷に捨てられたゴミを拾い集めました。

ゴミは空き缶、空き瓶、ビニール袋などの小さいものからクーラーの室外機、古タイヤ、ドラム缶などの大型の物まで多種多様におよんでおり、また明らかに町外から持ち込まれたものもあり参加者をあきれさせました。

最終的に集められたゴミは、大型トラック3台分もあり、参加者は「こんなことをする人がいるかと思うと許せない。きれいな環境を守らないと。」と話していました。



▶捨てられた多くのゴミを分別する参加者たち